

薬 剤 名 〔 委 託 者 〕	対象作物	判定	処理方法	処理時期	使用量(／a)	適用土壌	適用地域	使用上の注意、その他.
7. SR-793 細粒 〔 日本化薬 〕	大 豆	継						継：初年目、効果・薬害の検討.

注) ① アンダーライン(実線)は、本年度拡大または追加された部分である。なお、薬剤名のアンダーラインは、本年度はじめて使用基準の作成されたものである。

② アンダーライン(点線)は、その一部が拡大されたものである。

昭和58年度水稻・畑作関係 生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会 技術部

昭和58年度水稻・畑作関係生育調節剤試験成績検討会は、昭和58年12月12～14日の3日間、協和銀行秋葉原支店会議室(東京都千代田区神田和泉町1)において開催された。

水稻生育調節剤試験は、作用性19剤(のべ52点)、適用性20剤(のべ141点)について行なわれた。本年度、新規に実用化可能の判定を得て、使用基準の作成されたものは、BAS-106水和剤(健苗育成)、CGR-811水和剤(健苗育成)、イソプロチオラン粒剤(健苗育成)、イソプロチオラン水和剤(ムレ苗防止)、NTN-821水和剤(健苗育成)、SF-8002乳剤(ム

レ苗防止)、SF-8002粉剤→TPN・ベノミル水和剤(TPN・ベノミルとの混用および近接処理での安全性の確認)、タチガレン粉剤(湛水直播水稻の初期生育促進、カルパー混用)であった。

また、畑作関係生育調節剤は、作用性3剤(のべ6点)、適用性3剤(のべ7点)の試験が行なわれた。本年度新規に実用化可能の判定を得て使用基準の作成されたのは、C.C.C.液剤(秋播小麦倒伏軽減)であった。

なお、薬剤別の判定結果および実用化薬剤の使用基準は、次表の通りである。

昭和58年度 水稻・畑作関係生育調節剤判定結果および使用基準

1. 水 稻 関 係

薬 剤 名	有効成分・含有率(%)	試 験 目 的	判 定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
1. BAS-106 水和	テトシクラシス1	〔 作用性 〕 ①床土の種類と効果の関係。 ②温度の影響(作期による影響)。	実・継	24時間種子浸漬処理。 0.5～0.75 g/l.	①体系処理の検討。 ②床土の種類と効果の検討。 ③適用条件の検討。

薬 剤 名	有効成分・含有率(%)	試 験 目 的	判 定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
1. BAS-106 水和 (つづき)		③体系処理の検討。 〔適用性〕 ①健苗育成。			
2. CGR-811 水和	inabenfide ………… 50	〔作用性〕 ①人工床土の種類と効果の変動。 ②本田移植後の生育に及ぼす影響。 〔適用性〕 ①徒長防止・苗質劣化防止。	実・継	覆土前土壌灌注, 0.25～0.5 g/箱 (500 ml/箱の水に希釈)。	①温度と効果の関係。 ②床土の種類と効果の検討。 ③本田移植後の生育に及ぼす影響。
3. イソプロチオ ラン 粒	ジイソプロピルー1, 3-ジチオラン-2- イリデンマロネー ト …………… 12	〔作用性〕 〔適用性〕 ①健苗育成。	実	緑化期処理, 25～50 g/箱。	
4. イソプロチオ ラン 水和	前 掲 ………… 40	〔適用性〕 ①ムレ苗発生抑制効果の確認。	実・継	緑化期灌注処理, 50倍液, 500 ml/箱。	①薬量の検討。
5. KC-481 粉	ニコチン酸アミド ………… 20	〔適用性〕 ①低温時の生長促進効果の確認。 ②中苗での処理方法の検討。	実・継	稚苗・中苗の苗質向上, 5～10 g/箱 タチガレン併用 寒冷地以北。	①適用条件の検討。
6. KUH-833 水和	未 公 開 ………… 30	〔作用性〕 ①徒長防止。	継		①作用性の明確化 (徒長防止効果あり)
7. MS-33 乳	微結晶性ワックス ………… 25	〔作用性〕 ①蒸散抑制効果。 ②植傷み防止。	継		①作用性の明確化。
8. NK-191 粉	メタスルホカルブ ………… 10	〔適用性〕 ①健苗育成。	継		①適用条件の検討。 ②根上がりについての検討。
9. NTN-821 水和	NTN-821 ………… 5	〔作用性〕 〔適用性〕 ①徒長防止。	実・継	催芽後期 2時間, 種子 浸漬処理, 成分25～50 ppm。	①床土灌注処理での 検討。 ②温度と生育ムラの 関係。 ③適用条件の拡大。
10. PP-333 フロアブル	バクロブトラゾール ………… 2	〔作用性〕 ①中苗での健苗育成。	継		①適用条件の検討 (有望)。
11. SF-8002 粉	ヒドロキシイソキサ ゾール………… 4.0 メタラキシニル ………… 0.5	〔作用性〕 〔適用性〕 ①ムレ苗症防止。	実・継	8～12 g/箱を床土混 和。	①処理量の減量につ いての検討。

薬 剤 名	有効成分・含有率(%)	試 験 目 的	判 定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
12. SF-8002 乳	ヒドロキシイソキサ ゾール …………… 30 メタラキシニル …………… 4	〔作用性〕 〔適用性〕 ①ムレ苗防止.	実・継	緑化期灌注処理 500 倍液, 500 m ³ /箱.	①処理量の減量につ いての検討.
13. SF-8002 粉→タチ ガレン液	前 掲 → ヒドロキシイソキサ ゾール …………… 30	〔作用性〕 〔適用性〕 ①ムレ苗防止. ②健苗育成. ③本田での活着促進.	継		①体系処理による効 果の明確化. ②SF-8002 粉剤の 減量についての検 討.
14. SF-8002 粉→TPN ・ベノミル 水和	前 掲 → TPN …………… 50 ベノミル …………… 20	〔適用性〕 ①TPN・ベノミルと の混用および近接処 理での安全性の確認.	実・継	SF-8002 粉に準ずる.	①特定地域(薬害発 生)での確認. TPN・ベノミル との混用近接処理 での問題は認めら れなかった.
15. タチガレン 粉	ヒドロキシイソキサ ゾール …………… 4.0	〔作用性〕 〔適用性〕 ①湛水直播水稻の初期 生育促進(カルパー との混用).	実・継	3%種子粉衣(カルパー との同時粉衣).	①適用条件の検討.
16. SF-8002 粉	ヒドロキシイソキサ ゾール …………… 4.0 メタラキシニル …………… 0.5	〔作用性〕 ①湛水直播水稻の初期 生育促進(カルパー との混用).	継		①適用条件の検討 (有望).
17. TPN・ベ ノミル(ダレ コート) 水和	TPN …………… 50 ベノミル …………… 20	〔適用性〕 ①根の伸長・生理活性 への効果確認.	継?		①効果の明確化.
18. タチガレン 液	ヒドロキシイソキサ ゾール …………… 30	〔作用性〕 〔適用性〕 ①登熟向上効果の確認 および作用性・適用 条件の明確化.	実・継	出穂直前に 500 倍液を 150 l/10a 茎葉散布.	①作用性および適用 条件の検討.
19. SZ-8028A 液	ヒドロキシイソキサ ゾール …………… 30 D, L メチオニン …………… 10 ABA …………… 0.01	〔作用性〕 〔適用性〕 ①登熟向上効果の確認 および作用性・適用 条件の明確化.	継		①作用性および適用 条件の検討.
20. R-452 乳	2,3-ヒドロロー5, 6-ジメチルー1,4 -ジチン-1,1,4,4 -テトラオキシド …………… 24	〔適用性〕 ①収穫時のモミ水分低 下および米質・収量 への影響.	継		①効果と品質につい て更に検討. ②処理量(低薬量)の 検討.

薬 剤 名	有効成分・含有率(%)	試 験 目 的	判 定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
21. CGR-811 粒	inabenfide …………… 12	〔作用性〕 ①土壌の種類と効果の変動。 ②品種による効果の変動。 ③処理時期と効果の関係。 ④変動要因試験。 ⑤品種に及ぼす影響。 〔適用性〕 ①耐倒伏性の向上。	継		①土壌中の残効性の検討。 ②温度・土壌・品種と効果の検討。 ③施肥量と効果の検討。 ④薬量の検討。 ⑤根部への影響について検討。 移植前後～移植後50日処理で検討。
22. KUH-833 水和	未 公 開 …………… 30	〔作用性〕 ①倒伏軽減効果の検討。	継		①作用性の検討。
23. NTN-821 粒	NTN-821 …………… 1	〔作用性〕 〔適用性〕 ①倒伏軽減。	継		①土壌中の残効性の検討。 ②温度・土壌・品種と効果の検討。 ③施肥量と効果の検討。 ④薬量の検討。 ⑤根部への影響について検討。 出穂前15日～10日処理で検討。
24. PP-333 粒	パクロブトラゾール …………… 0.6	〔作用性〕 〔適用性〕 ①倒伏軽減。	継		同 上
25. S-327 粒	S-07 …………… 0.1	〔作用性〕 〔適用性〕 ①倒伏軽減。	継		同 上

2. 畑 作 関 係

薬 剤 名	有効成分・含有率(%)	試 験 目 的	判 定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
1. MGC-140 液	未 公 開 …………… 30	〔作用性〕 ①甘藷の増収効果の検討。	継		①作用性の明確化。
2. GF-030 乳	ワックス …………… 10 乳化剤, 水分等 …………… 90	〔適用性〕 ①馬鈴薯のデンプン含量増加。	継?		①効果不明確。
3. MGC-140 液	未 公 開 …………… 30	〔作用性〕 ①馬鈴薯の増収効果の検討。	継?		①効果不明確。

薬 剤 名	有効成分・含有率(%)	試 験 目 的	判 定	実用化に対する処理法	継 続 の 内 容
4. BAS-083 液	メピコートクロライ ド …… 50 g/l	〔作用性〕 ①馬鈴薯のデンプン含 量増加.	継		①作用性の明確化.
5. 改良C-MH 液	マレイン酸ヒドラジ ドコリン …… 39	〔適用性〕 ①テンサイの萌芽抑制.	継		①9月上旬処理で検 討中.
6. GF-030 乳	ワックス …… 10 乳化剤, 水分等 ………… 90	〔適用性〕 ①ビート同化産物蓄積 率の向上.	継?		①効果不明確.
7. c. c. c. 液	クロルメコート ………… 46	〔適用性〕 ①秋播小麦の倒伏軽減 効果. ②品質に対する影響.	実	出穂前, 10日~20日処理 50ml/a.	

世界の農耕地雑草とその制御

宇都宮大学教授 竹松哲夫 宇都宮大学助教授 竹内安智・共著

B 5 判、186頁、上製本、定価4,000円（送料300円）

〔特 色〕

世界で問題となっている雑草を地域別にまとめ、その現状と問題点を指摘。各国の農業事情にも言及した、新しい視点に立った専門書である。また主要作物については作物別に問題雑草と防除法を解説し、巻末には除草剤構造式の一覧表と、世界の主要雑草94種の詳図と解説を収録。雑草学、除草剤研究に必携の書。過去40年間にわたる実地調査と研究の集大成。

〔内 容〕

●地域別、国別にその農業の現状と問題雑草を記載し、その概要を明らかにした。
●主要作物については、作物ごとにその雑草を提示。その防除の現状と問題点を指摘している。
●世界の除草剤開発、防除法を歴史的にとらえ、将来の除草剤研究についても言及した。
●巻末には主な除草剤の構造式一覧表と、世界の主要雑草94種について詳図と解説を収録。資料としても貴重なものといえる。

全国農村教育協会

〒110 東京都台東区台東1-26-6（植調会館）☎03(833)1821

編 集 後 記

如月……本来なら更衣の季節なのに、日本列島は異常寒波に襲われ、1月19日の大雪の波残りが未だに路傍から消えず、まさに冷凍庫の中にいるような寒い日が続く。この寒波も間もなく去り、やがて春の息吹が感じられるようになる。休眠していた植物の種子もそろそろ活動をはじめようになるが、このような植物の種子に含まれる物質を大いに活用し、われわれ人類の繁栄に役だてたいものである。

財団法人 日本植物調節剤研究協会

東京都台東区台東1丁目26番6号

電話 東京(03) 832-4188 (代)

昭和59年2月発行

植調第17巻第11号

¥300（送料170）

編集人 日本植物調節剤研究協会専務理事 吉沢長人

発行人 植調編集印刷事務所 広田伸七

東京都台東区台東1-26-6 全国農村教育協会

発行所 植調編集印刷事務所

電話 東京(03) 833-1821 番(代)